

# なぜ、大切なのか

「ICT」とは、Information and Communication Technologyの略で、コンピュータや情報通信ネットワーク（インターネット等）などの情報コミュニケーション技術のこと。

## 学習指導要領解説では

- ・ほとんどすべての教科で ICT 活用に関する記述がある。
  - つまり、教科指導における ICT 活用は、欠かすことができない
- ・教員が ICT を活用すると
  - 学習指導の効果が、より高まる
  - 教員の指示や説明が、より分かりやすくなる
  - つまり、授業の質が高まる
- ・児童による ICT 活用
  - 映像の視聴（国語、理科、音楽、図画工作等）
  - 調べ学習や発表活動などに活用するなどの情報教育のため
  - つまり、子どもたちの情報活用能力の育成を図ることができる機会を充実させるため

## 学習指導要領解説の例

小学校 社会科  
 ・食糧生産の盛んな地域で生産に従事している人々に手紙などで調査したり、インターネットで生産地が発信する情報を集めたりするなど、具体的な活動を通して調べるようにする。

小学校 理科  
 ・観察、実験、栽培、飼育及びものづくりの指導については、指導内容に応じてコンピュータ、視聴覚機器などを適切に活用できるようにすること。

## 黒板+ICT

ICTによる情報の提示は、**板書の代わりになるものではない**。提示した情報について説明などをした上で、従来どおり重要な点は板書をし、児童生徒にノートをとらせる指導も重要となる。

『教育の情報化に関する手引(平成22年10月文部科学省)』より

**下の実践例も、板書を併用して活用している**

『大きく映せば子どもたちの顔が上がり、視線が集中します。「わかりやすい授業」の実現にとっても効果的です。』

(富山大学 高橋純 准教授の講義より)

## 実践例

『教育の情報化に関する手引き(平成22年10月文部科学省)』より



図3-2 教員がICTを活用して指導する例  
(教科書の図などを大きく映しながら説明している)



図4-2 A 情報活用の実践力  
表やグラフでわかりやすく表現する

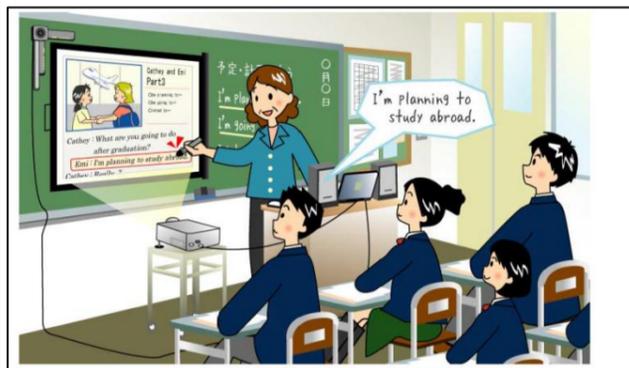


図3-3 教員がICTを活用して指導する例  
(ネイティブ・スピーカーの音声をICTで聴かせながら教科書を説明している)



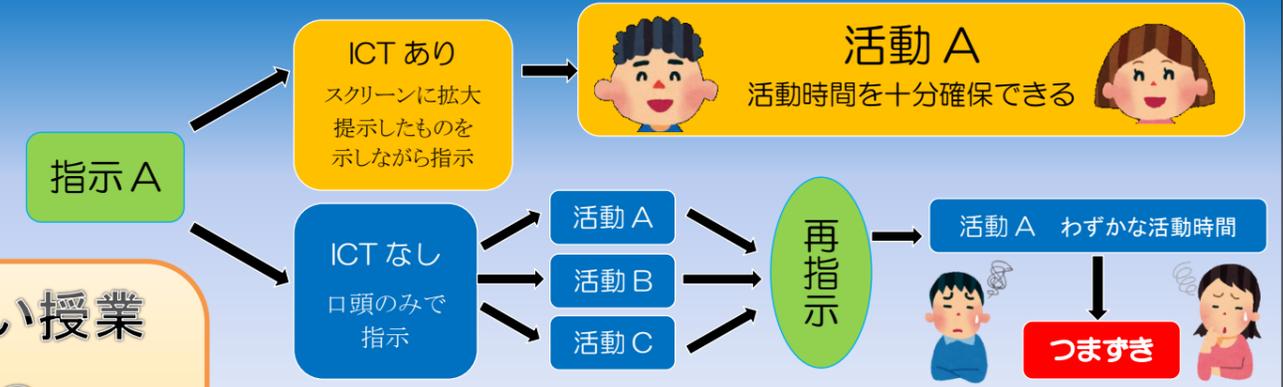
図7-7 生徒に基礎的・基本的な知識・技能を身に付けさせるためにICTを活用

# ポイント (大きく映せば⇒ICT活用)

**実物投影机とプロジェクター等を使って、大きく提示しよう!**

教科書、写真、実物、教具、資料集、地図帳、ノート、ワークシート、新聞、ドリル、原稿用紙などを大きく映してみよう。

## 【指示の明確化】に効くICT活用



### 解説

例えば、「資料集25ページの左上にある絵を見て、気づいたことをノートに書きましょう。」と指示した場合。

ICTを活用すれば、資料集を開かなくてもスクリーンを見ながら、活動ができる。

しかし、口頭で指示をした場合、教科書を開いたり、違うページを見ていたり、違う図表を見ていたりするかもしれない。そうすれば確認したり、指示しなおしたりし、活動の時間が減ってしまい、学習のつまずきが生まれてしまう。

# わかりやすい授業のためのICT活用

## 工夫・発展

**大きく映し、さらに、次のような工夫をしよう!**

### ○何を話すか

#### 発語

- 1) 発問
- 2) 指示
- 3) 説明

### ○何を映すか

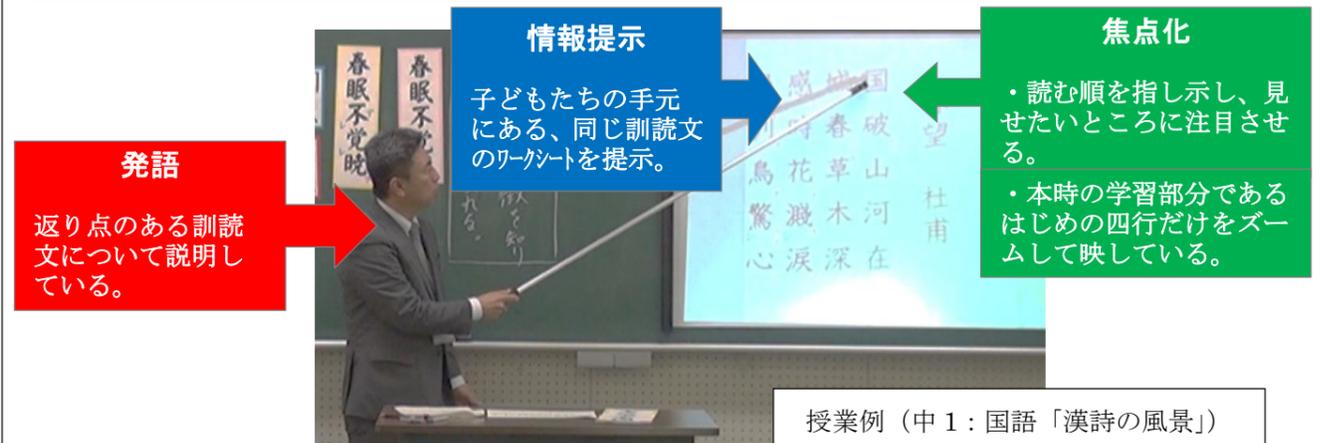
#### 情報提示

- 1) 教科書
- 2) ノート
- 3) ワークシート

### ○どう映すか

#### 焦点化

- 1) 指し示し
- 2) 書き込み
- 3) ズーム



発語  
 返り点のある訓読文について説明している。

### 情報提示

子どもたちの手元にある、同じ訓読文のワークシートを提示。

### 焦点化

・読む順を指し示し、見せたいところに注目させる。  
 ・本時の学習部分である最初の四行だけをズームして映している。

授業例 (中1:国語「漢詩の風景」)